



地域の親子の声を聴き、一緒に
悩みながらも寄り添った支援ができ、
うれしく感じています。

保健師 令和 4年度～ 玉島保健推進室

井上 結喜 (いのうえ ゆき)

倉敷市役所に入庁した理由を教えてください。

倉敷市では、中核市として感染症や精神保健、また母子・成人保健などの地域保健業務を幅広く行っています。保健師の配属先や業務内容も多岐にわたるため、知識も広く身につけられ、100名を超える先輩保健師からの助言を受けながら保健師としてのスキルを向上させることができるところに魅力を感じて入庁を決めました。母子保健がしたいと希望していましたが、実際に入庁し日々地域の親子の声を聴き、一緒に悩みながらも寄り添った支援ができ、うれしく感じています。

現在の所属の業務内容と担当業務について教えてください。

玉島保健推進室では、母子・成人・精神保健と幅広い業務を行っています。

活動体制は「業務担当制」と「地区担当制」となっており、私は幼児健診等の母子保健業務と担当地区内の家庭訪問や地域組織に出向いて健康教育等を行い、地域の健康課題の解決に向けて取り組んでいます。



倉敷市職員としてのやりがいを教えてください。



保健師としての経験が浅いため、ケース対応をしていく中で、どのような支援をするべきか迷うことも多々ありますが、先輩保健師に相談をしたり、関係機関の方と連携しながら対応を行い、少しずつ生活が変化していく様子を間近で見られたときにやりがいを感じます。

また、様々なケース対応をする中で、経験を積み重ねることができ、新たに対応する際に、以前学んだ知識や経験を活かしながら業務ができることに対してもやりがいを感じます。

就職活動中の皆さんにメッセージをお願いします。

保健師は、対象者の支援を通して自分自身も多くの学びを得ることができるとても素敵な仕事です。

仕事を行うにあたり、身近にロールモデルとなる先輩保健師もいるため、日々の業務を通して仕事に対する姿勢や保健師として働いていく上で大切なことを学び、自分の理想とする保健師像に近づくことができます。

皆さんと一緒に倉敷市で働ける日を楽しみにしています。